

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富士宮市			代表者名	須藤 秀忠
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部デジタル推進課	連絡先電話番号	0544-22-1116
担当者役職	主事	担当者氏名	藤原 加奈子	連絡先E-mail	
住所	418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	富士宮市DX推進計画の改定
概要	令和8年度に改定を予定している「富士宮市DX推進計画」に対して、国のDX推進計画や他自治体の動向も鑑みて助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 計画策定支援 生成AI活用 働き方 行政手続オンライン化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	830	令和8年1月15日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	支援・助言(オンライン)	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体職員、特に情シス職員の立場を理解した上で、計画改定について具体的に助言いただいた点。ロジックモデルの提案をもとに、当市の課題の中から重点的に取り組むべき課題を抽出し、速やかに整理してKGIとKPIの設定まで進めることができた点。				
アドバイザーへの要望事項	特にありません。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	1人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	1	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	富士宮市のDX推進計画の見直しについて検討するうえで、現行計画は外部業者が作成したもので、具体的なアクションプランがなく、全庁的な意識統一のもとに計画された内容ではないこと。組織体制の課題として、DX推進会議が機能していないこと。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	実行性のあるDX推進計画への見直し。また重点的に取り組む事項を決め、個別のプロジェクトが動いている状態。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ロジックモデルを使って、最終目標(KGI)と個々の施策の成果指標(KPI)を明確にすべきである。市民の時間削減や職員の負担軽減を数値化して目標設定することが重要である。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロジックモデルを活用し、市民の負担軽減と職員の業務効率化を数値化した目標を設定する ・コンビニ交付の利用促進、オンライン申請の改善、書かない窓口の導入を施策として提案を受けた 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	ロジックモデル(素案)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	市民課等の庁内他部署を巻き込んだ議論と課題整理	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	市民課を交えた、市民の負担軽減及び職員の負担軽減について具体的に検討していく	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル推進課としては、重点的に取り組むべき個別プロジェクトが運用フェーズに入っていること。 市民目線では、窓口待ち時間や、市役所に来る手間を減らして便利になること 職員目線では、庁舎に来る市民対応が減ることや、窓口や郵送で受け取る書類が減ることによる業務効率化。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/>

掲載許可 ☐ 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

